

ALTIA

2025年2月

取扱説明書

大型車用コラムリフト EE-HDM104



警告

製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用して下さい。
この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管して下さい。

株式会社 アルティア

目次

はじめに	P.3
1. 安全にご使用いただくために	P.4~5
1.1 警告ラベル	P.4
1.2 作業者	P.5
1.3 作業スペース	P.5
1.4 コラムリフトの作業前確認	P.5
1.5 使用時の注意事項	P.5
2. リフトの説明	P.6~8
2.1 特長	P.6
2.2 構成	P.6
2.3 寸法	P.7
2.4 機械安全装置	P.7
2.5 仕様	P.8
2.6 バッテリーの充電について	P.8
3. コラムの移動方法	P.9
4. 使用前の準備	P.10~P.20
4.1 バッテリーを充電する	P.10
4.2 油圧タンクにオイルを給油する	P.10
4.3 パレットジャッキを使用する	P.10
4.4 リミットスイッチの確認	P.11
4.5 コントロールパネル	P.12
4.6 アイコンの説明	P.12~P.15
4.7 操作概要	P.16
4.8 グループワーキング ネットワークの構築	P.17
4.9 システムの高さをゼロにする	P.18
4.10 各種コントロールモードについて	P.19~P.20
5. 使用方法	P.21~P.22
5.1 注意事項	P.21
5.2 グループコントロールモードの操作について	P.21~P.22
6. トラブルシューティング	P.23~P.24
7. メンテナンス	P.25~P.26

はじめに

この度は、大型車用コラムリフトをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

本製品をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用ください。

誤った使い方をすると製品が故障するばかりではなく事故の原因となります。

取扱説明書を大切に保管し、いつでも確認できるようにしてください。

保証はご購入から **1 年間** です。

取扱説明書に記載されている用途や操作方法で使用された場合、保証の対象外となります。

また、純正部品を使用しない修理、製品の改造を行った場合も保証の対象外となります。

製品が故障した場合は、販売店にご相談ください。

警告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」「補足」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから本製品を使用してください。



危険・・・

取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う危険が生じる事が想定される場合



警告・・・

取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される場合



注意・・・

取扱を誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合

1. 安全にご使用いただくために

1.1 警告ラベル

すべての安全警告ラベルはリフトに明確に描かれており、作業車がリフトを使用する危険性を認識し、回避できるようになっています。ラベルに破損、汚損があった場合はラベルを購入し貼り付けてください。

⚠ 注意	
 取扱説明書を読んでリフト操作を熟知した作業員のみがリフトの操作をしてください。	
 能力以上の重量がある車両をリフトアップしないでください。	 リフトアップ・リフトダウンする際は周囲に注意を払い、操作してください。
 屋内での使用を推奨します。多湿や強い日光のもとでは、使用しないでください。	 リフトエリアには常に障害物を置かないでください。
 風速が14m/s 以上を越える場合は、屋外で使用するしないでください。	 勾配がある場所や水平レベルが確保されていない場所、リフト及び車両重量に十分に耐えられない作業エリアでは使用しないでください。
 コラムが傾いた状態で車両のセッティングは行わないでください。	 車両の前後左右の重量バランスが取れていることを確認してください。
 リフトアップ中は、車両を過度に揺らさないでください。	 車両をリフトアップした状態で作業する場合は、必ずメカニカルロックをかけてください。
 リフトの改造、および安全装置を取り外すことは禁止されています。	 車両以外のものをリフトアップしないでください。
 人が乗車したままの状態車両をリフトアップしないでください。	 可動部に手や足などを近づけないようにご注意ください。

※ 上記の警告・注意および指示は、起こりうるすべての状況および事態を防ぐものではありません。

1.2 作業者

- ・ コラムリフトを操作する前に、取扱説明書をよく読み理解したうえでご使用ください。
- ・ 操作は熟知した作業者がリフトを操作してください。
取扱い・操作手順を理解せずに操作すると、製品の不具合や重大な事故を引き起こす可能性があります

1.3 作業スペース

- ・ 平滑かつ、リフトの車両重量に十分に耐えられるコンクリート床の作業場（コンクリート厚さ200mm以上推奨）でご使用ください。
- ・ 雨が当たる場所や濡れた床面で使用しないでください。
- ・ 風速が14m/sを超える場合は屋外で使用しないでください。
- ・ 可燃性液体（ガス）や危険物ある付近では使用しないでください。
- ・ 安全に作業できるスペースを確保し、リフト作業に支障が出ない場所で使用してください

1.4 コラムリフトの作業前確認

- ・ リフトを無負荷状態で上昇下降操作を行い、各部の動作が良好であることを確認してください。
- ・ バッテリーメーターを読み、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。
- ・ バッテリーの充電中や、充電容量が20%以下の場合は使用しないでください。

1.5 使用時の注意事項

- ・ コラムリフトは車両を整備する以外には使用しないでください。
- ・ 洗車や、コラムリフトに水や液体がかかる作業には使用しないでください。
- ・ 取扱方法を熟知した作業者がコラムリフトを操作してください。
- ・ リフトアップする際はタイヤに合うようにコラムリフトのフォーク幅を調整してください。
- ・ 全てのタイヤが少し浮く程度リフトアップさせたら操作を一旦停止し、車両が安定していることを確認してください。
- ・ リフトアップ(リフトダウン)時は車両周囲に注意を払い、車両の挙動には十分注意してください。
- ・ リフトアップした車両の下に入る際は
各コラムの安全ロック機構が確実に機能していることを確認してください。
- ・ 重い部品を取り外したり取り付けたりする際は、必ずリジトラックを使用してください。
- ・ リフトアップ時は車両に乗らないでください。
- ・ リフト作動時は車両の下に入らないでください。
- ・ 車両を持ち上げた状態で長時間放置しないでください。
（長時間の作業時は必ずリジトラックで車両を受けてください。）
- ・ 安全装置が正常に動作しない場合、リフトの使用を中止し、修理を依頼してください。
- ・ コラムリフトの改造は絶対に行わないでください。

上記の指示、注意、警告を遵守し、作業者は安全の為、細心の注意を払って作業してください。
上記の内容が守られない場合の損害については、弊社またはその販売業者は責任を負いかねます。

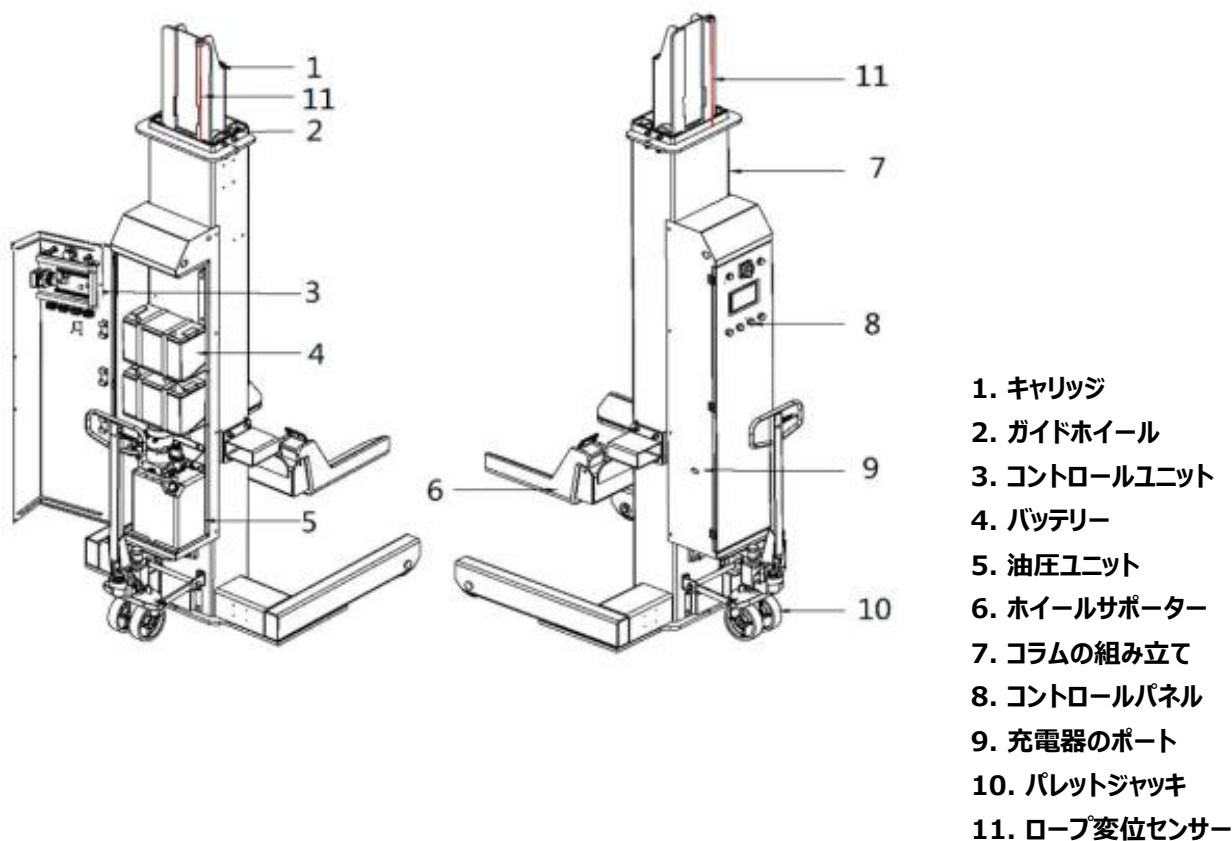
2. リフトの説明

2.1 特長

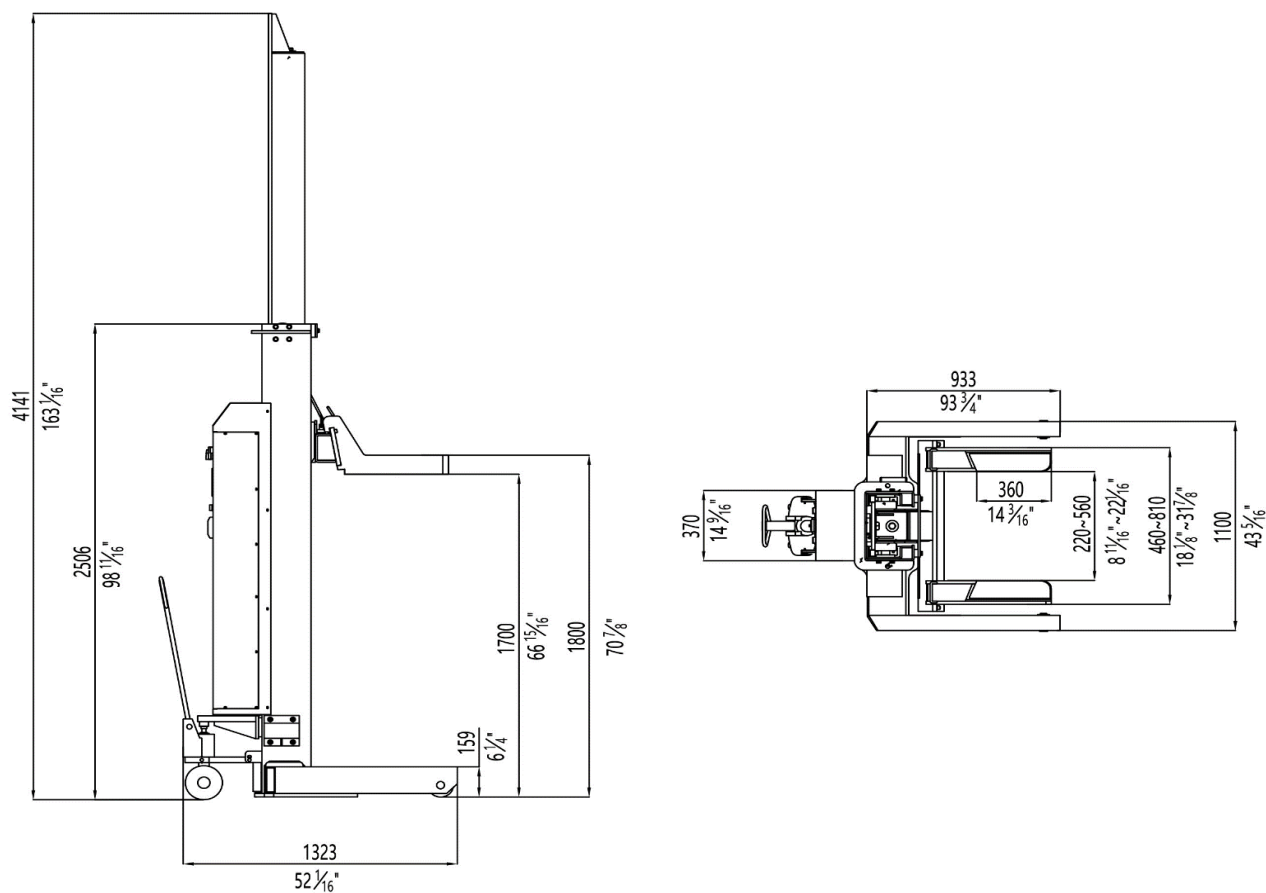
本製品（EE-HDM104）は自動車用移動式コラムリフトです。

- ・各コラムは無線で通信されており、
コラム間のケーブル接続が不要で作業スペースを確保し安全なリフト操作が可能です。
- ・各コラムは10,000kgの能力があり、車両を持ち上げるために少なくとも4本のコラムが必要です。
- ・通常は4本のコラムで使用します。必要なコラム数は、車両の重量と車軸の数によって異なります。
- ・コラムリフトはバッテリー駆動です。
シングルモードではコラム単体を個別に上昇・下降させることができます。
グループモードでは、各コラム(2、4、6、8台)を同時に操作することができます。
- ・リフトの操作には誤作動防止の為、ICカードを都度かざす必要があります。

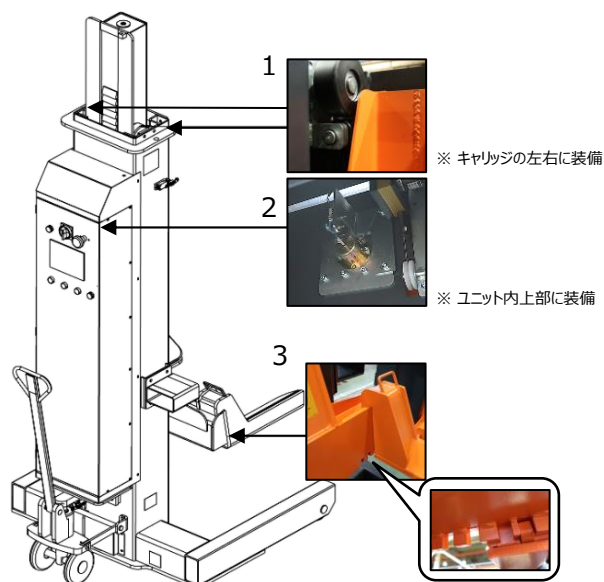
2.2 構成



2.3 寸法



2.4 機械安全装置



No.	装置名	機能
1	ガイドホイール	キャリッジを垂直に動かす
2	機械式ロック装置	油圧に不具合がある場合に機能するメカニカルロック
3	フォークロック	負荷でフォークが横に動くのを防ぐ

2.5 仕様

モデル	HDM104
能力	各コラム10,000kg
充電器	AC100V 4.5A (50/60HZ)
圧力リーフバルブ	17MPa
電力	DC24V/2.2kW
充電器用電源	AC110～240V
動作電圧	DC24V
揚程	1,700mm
上昇時間	約95秒
下降時間	約80秒
ノイズ	75dB以下
本体重量	約915kg (1コラム)
操作温度	0℃～60℃
基礎コンクリート	C35
基礎の厚さ	≥200mm
油圧オイル	ハイドロオイルNO.46 14L (寒冷地でご使用の際はNO.32ハイドロオイル 14L) ※ 1 コラムあたり
下降時安全機能	高さ300mmのところで一旦停止 ブザーが鳴り下降

2.6 バッテリーの充電について

バッテリーを100%まで充電するには、約8～10時間程度(周辺温度25℃前後にて)がかかります。

下記の期間、リフトを使用しない場合は、定期的に充電を行ってください。

定期的な充電を行わない場合、新品であっても、バッテリーが使用できなくなる場合があります。

《充電時間の目安》

環境温度(ET)	未使用期間	充電方法
-15℃ < ET < 25	180日間	純正充電器を使用して、 最低 8 時間バッテリーを充電してください。
25℃ ≤ ET < 35	90日間	
35℃ ≤ ET	45日間	

鉛バッテリーの場合、充電サイクルが長くなるにつれ、バッテリーの容量が低下する場合があります。

バッテリーの電圧が 10.5V 以下になりましたら、新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーの保証期間は、リフトの製造日から 1年間です。

3. コラムの移動方法

各コラムはフォークリフト移動または搭載のパレットジャッキを使用し、移動します。

各コラムはフォークリフトによって移動するためのガイドが2本取り付けられています。
ガイドは下記の警告ラベルが付いているコラムの両側に取り付けられています。



注意:

- ・一度に移動できるコラムは1本です。
- ・移動にはフォークリフトを使用し、必ずガイドにフォークを差し込んで移動してください。
ガイド以外での移動は機器の破損や人身事故につながる恐れがあります。
- ・移動時は周囲を確認し、コラムの下に入らないでください。
- ・フォークリフトで移動する際は
パレットジャッキ部分の稼働による破損を防止するため、
ハンドル部分は緩衝材や段ボールで保護の上、
下記のようにパレットジャッキ部をPPバンドやテープを1周巻きつけ、ハンドルが動かないよう固定してください。



4. 使用前の準備

4.1 バッテリーを充電する

- ・ 充電器の仕様を確認し、充電器が電源と互換性があることを確認します。
- ・ 充電には必ず純正のバッテリー充電器をご使用ください。
- ・ 最初にご使用いただく前にバッテリーの充電状態を100%まで充電することを推奨しています。
- ・ 充電時間は通常の状態(周辺温度 25℃前後)で、8～10時間程度かかります。
- ・ バッテリーの寿命は、充電サイクルの回数などの使用状況により異なります。
- ・ バッテリーの充電容量が30%以下になった場合には必ず充電してください。
- ・ **バッテリーの消耗を予防するため、充電中はリフトを使用しないでください。**

4.2 油圧タンクにオイルを給油する

- ・ 作動油はハイドロオイルNO.46を使用してください。
寒冷地ではハイドロオイルNO.32を使用してください。
- ・ 作動油は最初の使用から6ヶ月後、2回目以降は1年ごとに交換してください。
オイルを抜く際は手動のオイルポンプをご利用ください。
- ・ オイル注入時はごみが混入しないよう注意してください。
- ・ オイルの給油、交換時はリフトを完全に下げた状態で行ってください。
- ・ 各コラムのオイルタンクに約14L給油し、リフトを最高位から最低位まで2～3サイクル作動させ、作動停止後、油量の確認を実施してください。

4.3 パレットジャッキを使用する

パレットジャッキはコラムを浮かせ移動させるために使用します。

リフト使用時は下ろし、リフト本体が床に接地するようにしてください。

パレットジャッキは下記画像のようにグリップのレバーの位置によってそれぞれ作動を行います。



車両を乗せる前にはパレットジャッキが最下位まで下降していることを必ず確認してください。

上昇



レバーを押し下げ、ハンドルを上下にあおることにより
フレームが上がります。

中立



移動させる際はレバーを中立の位置にしてください。

下降

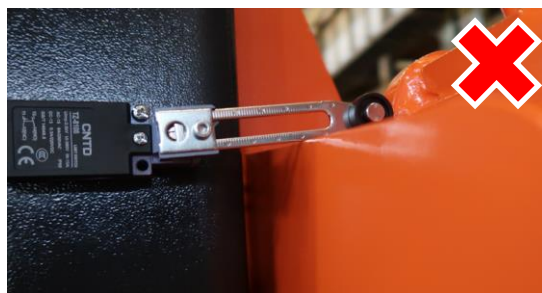
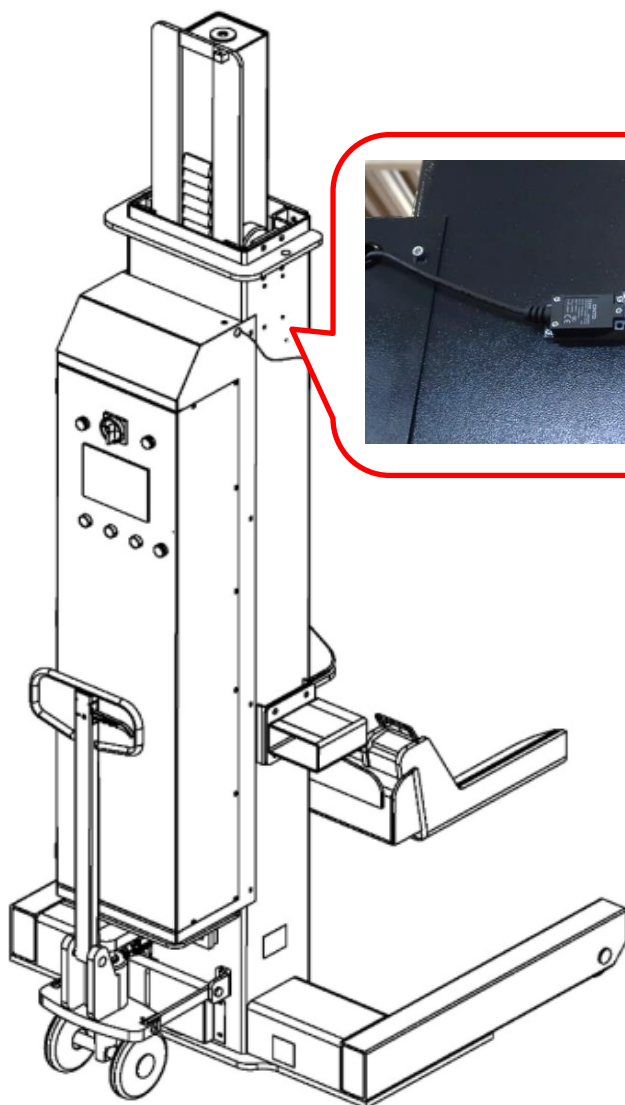


リフト使用位置に移動させたらレバーを引き上げて
フレームを地面に接地させます。

4.4 リミットスイッチの確認

キャビネット上部にあるリミットスイッチが正常に取付られているか確認してください。

リミットスイッチの角度は下記画像のように上向きにしてください。



4.5 コントロールパネル



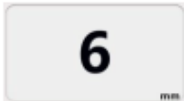
No.	アイコン	内容
①	電源ランプ	電源がオンになると緑に点灯
②	電源スイッチ	電源のオン/オフの切替
③	アラームブザー	同調/接続不良時の警告音とランプの点滅
④	表示画面	コラム番号や接続・稼働状況等のリアルタイム表示とメニューの選択・表示が可能(タッチパネル式)
⑤	下降ボタン	コラムの下降 ・ ⑥ロックボタンが解除されている状態では、ボタンを押している間、キャリッジは垂直に下降し ・ ⑥ロックボタンが作動している状態では、キャリッジが一度上昇し、ロックを解除してから下降 ※ 安全作業実現の為、床面から300mm高さでコラムは自動停止します 解除には下降ボタンを押し、最下限位置まで下降させてください
⑥	ロックボタン	メカニカルロックをかける
⑦	上昇ボタン	コラムの上昇
⑧	緊急停止	緊急時・非常時の停止装置 解除する場合にはつまみを右に回転させる
⑨	カードリーダー	ICカードの読み取り 誤操作防止の為、操作ごとにICカードをかざす必要があります

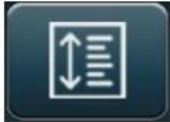
4.6 アイコンの説明

《操作画面(トップ画面)》



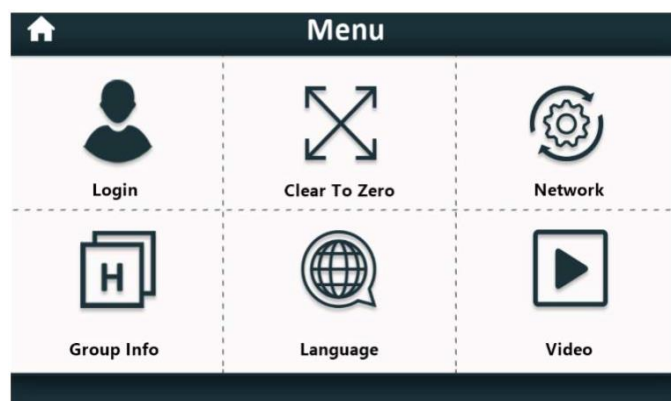
No.	アイコン	内容
1		通信強度の表示 アンテナのアイコンがすべてグレーで表示されている場合は各コラムの通信状態を確認してください
2		上昇時の各コラムの最大揚程差(mm)の表示 50mm以上揚程差が発生する場合は、安全装置が作動し、上昇・下降操作は使用不可になります ※ 揚程差が大きく発生した場合は、一番揚程の低いコラムを単独モードで上昇させ、揚程差が少なくなるよう調整してください。
3		各コラムの番号 ソフトウェアによって自動付与されます

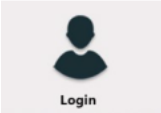
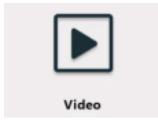
No.	アイコン	内容
4		通信チャンネルコードの表示 ソフトウェアによって自動付与されます グループモード使用の際は、すべてのコラムに同じチャンネルコードが表示されているか確認してください
5		グループ内のコラムの接続数を表示 シングルコラムモードでは「1」が表示、ペアモードでは「2」が表示、グループモードでは、コラムの合計数が表示される モードの選択とコラムの接続数の確認完了後、緑アイコンをタップすると赤アイコンに変わり、確定状態となり、操作可能となります
6		グループのIDコード 同一のグループで同一のIDが表示されていない場合は、再度ネットワークの再構築を実施してください (P.17参照)
7		各コラムの現在の上昇高さを表示
8		【シングルコントロールモード】 一つのコラムを単独で操作することが可能 ※ グループ内のいずれかのコラムがシングルコントロールモードになった場合、再びグループモードを設定するまで、警告音が鳴り続けます (P.19 参照)
9		【ペアコントロールモード】 対角に配置(同じ車軸の両側に配置)した2台のコラムを同時に操作することが可能 ※ ペアコントロールモードに入る前に、必ずコラム番号アイコンに「2」と表示されているか確認してください ※ ペアにできるコラムは「No.1」と「No.2」・「No.3」・「No.4」と決まっており、「No.2」と「No.3」のペアでは接続できません (P.20 参照)
10		【グループコントロールモード】 同じグループ内すべてのコラムを同時に操作することが可能 ※ グループコントロールモードに入る前に、必ずコラム番号アイコンに「4」と表示されているか確認してください (P.19 参照)

No.	アイコン	内容
11		ペアまたはグループコントロールモードにおいて、「Different work settings among columns」という警告が画面に表示された場合にこのアイコンをタップすることで作業設定を同期させることが可能です
12		現在の上昇高さをモニター上で「0」にすることが可能 基準の位置から●mm上昇させたい場合などに活用します 解除する場合は、再度アイコンをタップします 『ペアコントロールモード』または『グループコントロールモード』では、クリアの有効化が他のコラムにも自動的に同期されます ※ クリアアイコンが有効化されると、 キャリッジの下降はできなくなります
13		下降速度の減速が可能 解除する場合は、再度アイコンをタップします
14		メニュー画面を表示する(P.15参照)

《メニュー画面》

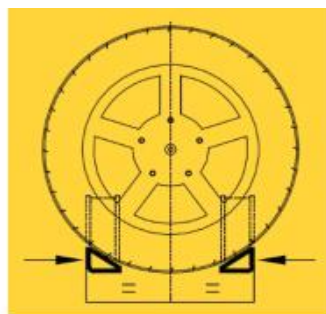
トップ画面から  をタップしますと、下記画面が表示されます。



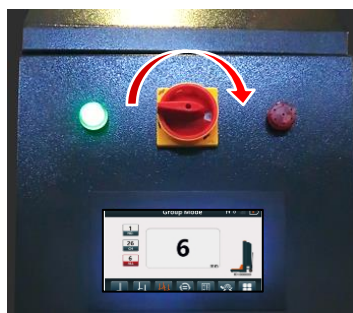
No.	アイコン	内容
16		ユーザーログイン
17		ゼロ基準設定 キャリッジを最下限まで下げ、アイコンをタップします ※ キャリッジを最下限よりも高い位置でゼロ基準設定を実施した場合、キャリッジを最下限まで下げると負の高さ値が表示されますので、ご注意ください
18		ネットワーク、グループの構築の設定(P.17 参照)
19		グループ内すべてのコラムの高さ情報を表示
20		言語設定(中国語・フランス語・英語・ドイツ語・スペイン語) 言語設定はそれぞれのコラムで実施いたします
21		本製品では表示されません

4.7 操作概要

① コラムのキャリッジをタイヤ中心に合うようにセッティングする



② 各コラムの電源を入れる



③ ICカードをかざす(モード選択の為)



④ グループモードを選択する



⑤ ICカードをかざす(操作許可の為)



⑥ アップボタン を押し続ける

※ 少しリフトアップした状態で安定性を確認してください



⑦ 上昇位置を確定させ、ロックボタン を押す

ロックは安全のため、必ずかけてください

※ ロックボタンを押すと、キャリッジが若干上昇し、ロックがかかります



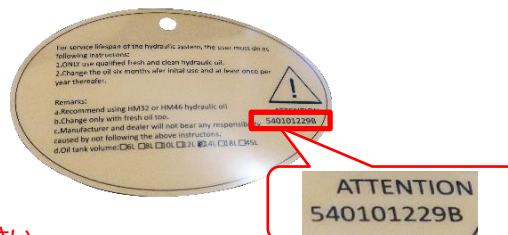
⑧ 作業終了後、ダウンボタン を押し続ける

※ F.L.300mmの位置で自動停止するため、
再度ダウンボタンを押し続けて最下限まで下降させます
F.L.300mmからの下降時はブザーが鳴ります



4.8 グループワーキング ネットワークの構築

付属のプレート(右記画像)に同じシリアル番号が記載されているコラムは、
納入前に既にグループとして設定されていますので
接続や設定が変更にならない限り、本操作は不要です。



各コラムの電源スイッチがそれぞれオンになると、
全てのコラムが自動的に接続されます。

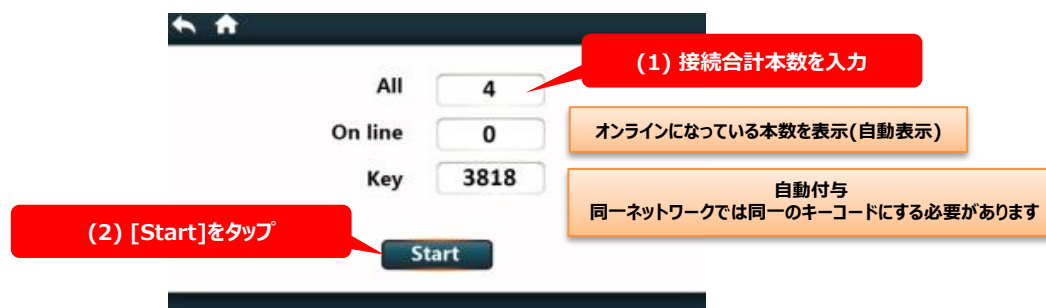
正常にコラムの接続ができない場合に本操作を実施してください。

① No.1のコラムのメニューページのネットワークアイコンをタップし、ネットワーク構築のページにアクセスします。



②  をタップします

接続するコラムの数量を入力し、"Start"をタップすると、自動的に生成されたキー番号が表示されます。



③ No.2以降のコラムでは  をタップし、同じKey番号を入力し、[Join]をタップしてください。



4.9 システムの高さをゼロにする

コラムを配置後は、システム高さをゼロに設定してください。



【注意事項】

- ・ 傾きのある床面に設置した場合は誤差が発生する場合がありますので設置状況をご確認ください。
- ・ リフトアップした状態で値をゼロに設定しないでください。
- ・ ゼロにクリアする前に、車輪サポートキャリッジを床面まで完全に下げてください。
- ・ キャリッジが床面より上の位置にある状態でゼロを設定した場合、キャリッジがゼロ設定位置より下に降下すると、マイナスの値が画面に表示されます。

① シングルコントロールモードのゼロ設定

グループコントロールモードに移行する前に、各コラムのゼロ設定を実施してください。

《操作手順》

① カード読み取り



② シングルコントロールモード起動



③ DOWNボタンを押し、キャリッジを最下限まで下げる



③ [CLEAR TO ZERO] をタップし、完了

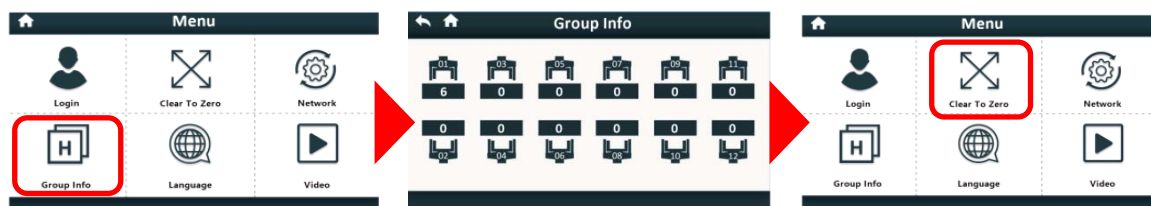


② グループコントロールモードのゼロ設定

グループコントロールモードを起動した場合は、[Group Info]からすべてのコラムの高さを確認することができます。

すべてのコラムが最下限の状態にもかかわらず誤差が発生している場合は、

① シングルコントロールモードのゼロ設定同様、[CLEAR TO ZERO] をタップしてください。



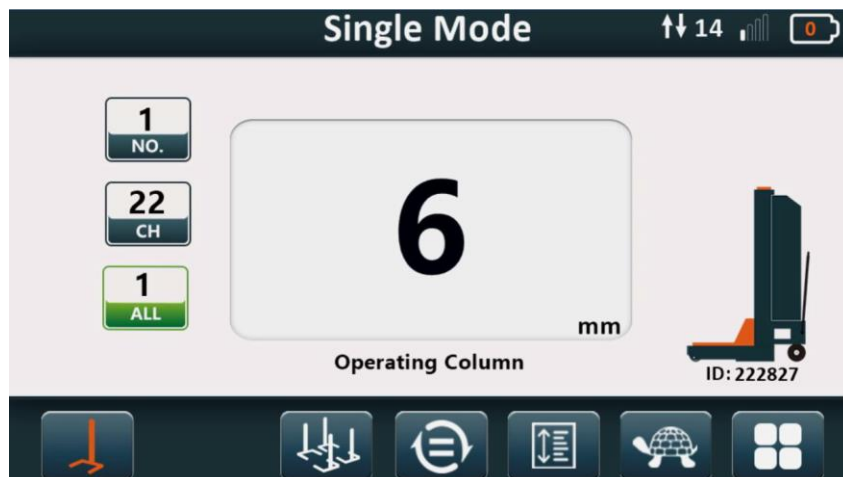
4.10 各種コントロールモードについて

《シングルコントロールモード》

シングルモードでは、1つのコラムを独立して制御することが可能です。

ICカードを読み取り後、 アイコンをタップしてシングルコントロールモードを起動します。

アイコンが白色からオレンジ色になると、シングルコントロールモードが起動します。



《グループコントロールモード》

グループモードでは、グループ内のすべてのコラムを同時に操作することが可能です。

ICカードを読み取り後、 アイコンをタップしてグループコントロールモードを起動します。

アイコンが白色からオレンジ色になると、グループコントロールモードが起動します。



《ペアコントロールモード》

ペアコントロールモードでは、グループ内のすべてのコラムを同時に操作することが可能です。
ICカードを読み取り後、 アイコンをタップしてペアコントロールモードを起動します。

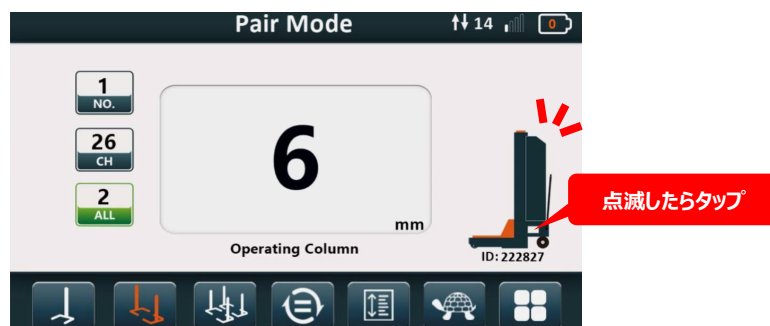
アイコンが白色からオレンジ色に変わると、ペアコントロールモードが起動します。



ペアコントロールモードでは、各コラムは自動的にペアに分けられ、
No.1はNo.2と、No.3はNo.4と、No.5はNo.6とペアリングすることが可能です。

《操作手順》

- ①  が表示されていることを確認してください。
- ② ペアリングが有効になると、コラムアイコンが点滅します。
- ③ 点滅しているコラムアイコンをタップすると点滅から点灯に変更されます。



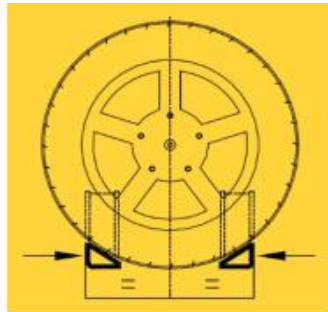
【注意事項】

- ・ ペアコントロールモードでは、コラムは必ず対称の位置になるように配置してください。
- ・ ペアにできる組み合わせは決まっております。
そのため、NO.1とNO.3/No.1とNo.4といった組み合わせではコラムでコマンドを確定した場合、
ペアリングされません。

5. 使用方法

5.1 注意事項

- ・ コラムリフトの配置が完了しましたら、車両をリフトアップする前に数回程度、上昇/下降操作を行い、コラムが正常に動作するか確認してください。
- ・ 各タイヤサイズにフォークを合わせてからコラムのリフトアップを実施してください。
タイヤサイズに合わない状態でコラムをリフトアップすることは危険ですので、おやめください。
- ・ リフトアップには常に2本/4本のコラムを使用し、1本での片上げは絶対にしないでください。
2本でリフトアップさせる場合は、必ずリジットラックを使用してください。
- ・ 車両のリフトアップは平滑なコンクリートで行ってください。
- ・ リフトアップは使用方法に熟知した作業者が行ってください。
- ・ コラムを車軸に合わせ、タイヤに合うように必要な距離にフォークを調整してください。



- ・ タイヤが浮く程度上昇させた後、車両が正しく安全な状態にあることを確認してください。
- ・ リフト作動時は目を離さず、リフトおよび周囲に注意してください。
- ・ 上昇位置の確定後ロックボタン  を押し、必ずロックを作動させてください。
- ・ 車両の重心が偏る車両のリフトアップや重い部品を取り外したり取り付けたりする際は、必ずリジットラックを使用してください。
- ・ リフトアップ中は車両を過度にゆすらないようにしてください。
- ・ アームの上に乗らないでください。
- ・ リフトアップ時は車両に乗り込まないでください。
- ・ リフト作動中は周囲に立ち入らないでください。
- ・ 車両をリフトアップ後、無人状態で長時間放置しないでください。
- ・ リフト操作中は充電しないでください。

5.2 グループコントロールモードの操作について

- ・ 各車両のリフトアップ方法は、カーメーカーの指示に従い、使用してください。
- ・ 作業者は、過負荷や車両自体の損傷を避けるために、それぞれの独立したリフトユニットに適用される車両の軸重・荷重を把握し、適切な操作をしてください。
- ・ 車両の最大荷重が各コラムがの最大耐荷重を超えないことを必ず確認してください。
- ・ 車両の重心が偏る車両では、無理なリフトアップは行わないでください。

【上昇操作】

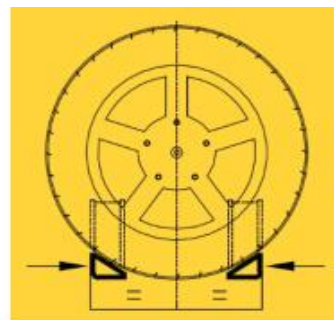
- ※ 車両が前後左右の重量のバランスが取れていることを確認してください。
- ※ 車両の上部に 障害物がないか確認してください。
- (1) 4本のコラムが正しく車軸に配置されるよう、コラムの設置位置を決めてください。
タイヤに合うようにフォークを調整してください。
フォークリフトを使用し、移動させる場合はパレットジャッキのハンドル部分をPPバンド等で固定し、
周囲の環境を確認の上、移動させてください。
- (2) パレットジャッキを完全に下げ、コラムリフトのフレームが安定した状態で床に設置していることを確認します。
- (3) すべてのコラムの電源がオンになっていることを確認します。
カードリーダーにICカードをタッチし、操作可能な状態にします。
カードリーダーは各コラムに設置されているので、どのコラムでも操作が可能です。
- (4) アップボタン  を押し、タイヤが浮く程度上昇したら、ボタンから手を放し、リフトを停止させます。
車両の安定性を確認の上、再度アップボタン  を押してリフトアップをしてください。
- (5) 上昇位置が確定したら、ロックボタン  を押し、安全ロックを作動させてください。



**リフトアップ/リフトダウン時の車両の頭上、およびキャリッジ周辺に
障害物がないか必ず確認してください。**



フォークをホイールの下に挿入する前に、フォークの状態を確認してください。
下記の画像のようにリフトアップ前に、フォークが噛み合っている必要があります。
フォークの2つのロック位置は、コラムの中心軸に対して対称である必要があります。



【下降操作】

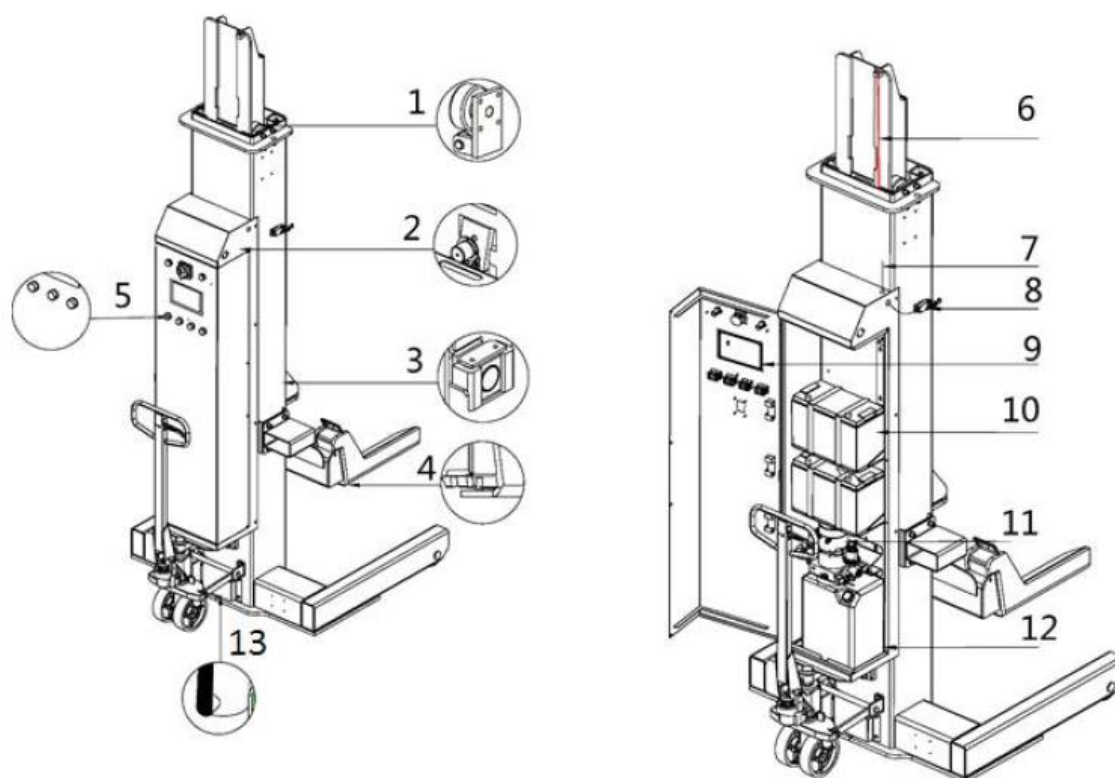
- (1) リフトを下げるときは、周囲の安全を確認してください。
- (2) ICカードをタッチし、ダウンボタン  を押すと、キャリッジが自動上昇しロックが解除され、
キャリッジが下降します。
※ キャリッジのロックが解除できない場合は、シングルコントロールモードを起動し、
アップボタン  を押してロックを解除してから下降させてください。
- (4) 下降するキャリッジは床から高さ約300mmで安全の為、自動的に停止します。
警告ブザーと共にキャリッジが下降します。
- (5) 最下限まで下降させる為には、DOWNボタン  を押し続けてください。

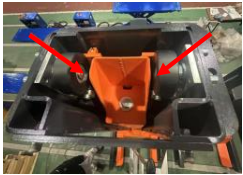
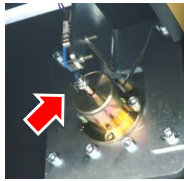
6. トラブルシューティング

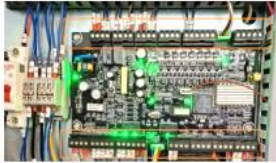
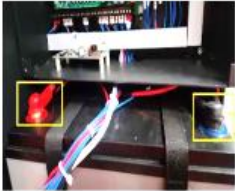
トラブル	考えられる原因	対処方法
上昇しない	上昇ボタンの接触不良	販売店へご相談ください。
	バッテリーが充電されていない	バッテリーを充電してください。
	タンク内のオイルレベルが不十分	規定オイルを給油してください。(P.8参照) オイルの漏れが発生している場合は、販売店へご相談ください。
下降しない	ポンプの動力不足	販売店へご相談ください。
	同調不良	警告音が鳴るコラムをシングルモードにし、システム高さの偏差が50mm以下になるまで上昇高さを調整してください。 調整後は、グループコントロールモードに戻し、同期を確認してください。
	オイルバルブの不良	販売店へご相談ください。
	リリーフバルブの不良	販売店へご相談ください。
	下降ボタンの接触不良	販売店へご相談ください。
	バッテリーが充電されていない	バッテリー充電してください。
	機械ロックが解除できない	シングルモードで各コラムを上昇させて、ロックを解除してください。
	下降バルブが開かない	販売店へご相談ください。
	下降バルブの詰まり	販売店へご相談ください。
	同調不良	警告音が鳴るコラムをシングルモードにし、システム高さの偏差が50mm以下になるまで上昇高さを調整してください。 調整後は、グループコントロールモードに戻し、同期を確認してください。
自然降下する	シリンダーシールの損傷	販売店へご相談ください。
	オイルラインからのオイル漏れ	販売店へご相談ください。
	逆止弁の不良	販売店へご相談ください。
	下降バルブの不良	販売店へご相談ください。
	タンク内のオイル不足	規定オイルを給油してください。(P.8参照) オイルの漏れが発生している場合は、販売店へご相談ください。
リフトの作動不良	エア噛み	販売店へご相談ください。

トラブル	考えられる原因	対処方法
コラムのペアリングができない	NO.1コラムがネットワーク構築を開始したが、すべてまたは一部のコラムとペアリングができなかった。	各コラムのチャンネル番号、Key番号が同一になっているか確認してください。 異なる場合は、本書P.17を参照し、ネットワークの再構築、ネットワークへの加入を実施し、再度ペアリングを行ってください。
	グループ内のコラムがシングルコントロールモードになっている。	シングルコントロールモードを解除し、グループコントロールモードにしてください。
同調不良・動かない	アンテナ端子の欠損	販売店へご相談ください
	制限値内(揚程差 50mm以上)が発生している	警告音が鳴るコラムをシングルモードにし、システム高さの偏差が50mm以下になるまで上昇高さを調整してください。調整後は、グループコントロールモードに戻し、同期を確認してください。
	同調が制限値を超えている	警告音が鳴っている柱を特定します。警告音が鳴っている柱をシングルモードに切り替え、残りの柱の高さの偏差が50mm未満になるまで上昇高さを調整します。その後、グループモードに切り替えて、再びグループに参加させます。UP ボタンまたは DOWN ボタンを押して、故障が解消されたかどうかを確認します。
	リミットスイッチが作動している	各コラムをシングルコントロールモードで上昇させ、ロックを解除してください。
	セットアップ不良	本書のP.17を参照し、セットアップしてください。

7. メンテナンス



No.	部品名	検査方法	点検期間	画像
1	コラム上部のガイドホイール	アップボタン  を押し、ガイド車輪を点検してください。 車輪はキャリッジの上昇に合わせて回転し、定期的にグリスアップしてください。	毎月	
2	機械式ロック装置	制御盤の扉を開け、アップボタン  とロックボタン  を押し、電磁石の動きを点検してください。 ロックボタンを押すとロックプレートが外れます。	毎月	
3	キャリッジのスライディングトラック	グリスをトラックに均等に塗ってください。	3ヶ月ごと	
4	フォークのロック装置	各ラッチ位置を点検してください。 変形を発見した場合は、リフトの使用を中止してください。	毎日	
5	各操作ボタン	無負荷状態でボタンが正常に操作できるか確認してください。	毎日	

No.	部品名	検査方法	点検期間	画像
6	ロープ変位センサー	制御盤のドアを開け、センサーのロープを押して張力を確認する。弛んだセンサーを新しいものと交換してください。	6ヶ月ごと	
7	アンテナ	接続をチェックする。アンテナ下部をホルダーに固定する。基板との結線を締めます。	3ヶ月ごと	
8	最大上昇リミットスイッチ	スイッチの可動レバーを押し、基板上のランプが点滅するか確認してください。	3ヶ月ごと	
9	回路基板周辺のワイヤー端子の接続	すべての連結端子を点検し、所定の位置に押し込んでください。	3ヶ月ごと	
10	バッテリー	バッテリーの電圧を確認してください。新品のバッテリーの電圧は 12～12.9V です。テストした電圧が 10.5V 未満の場合、バッテリーは使用不可です。リフトサイクルのフル能力が 5 未満である場合は、新しいバッテリーに交換することをお勧めします。	3ヶ月ごと	
11	パワーユニットに組み付けられたバルブ	バルブを取り外し、固形物が付着していないか確認してください。バルブをきれいな油圧オイルで整理し、洗浄します。 初回の試運転の最初の1週間が終了した後も実施する必要があります。	12ヶ月ごと	
12	作動油	初回使用后、6ヶ月でオイルを交換し、その後は1年に1回交換してください。オイルが黒くなったり、タンク内に汚れやその他の固形物がある場合は、すぐにオイルを交換してください。	12ヶ月ごと	No.11 画像参照
13	オイルホース	ホースの接続を締めてください。	3ヶ月ごと	No.11 画像参照

取扱説明書

品 名	大型車用コラムリフト
型 式	EE-HDM104
初版発行年月	2022年12月
改訂発行年月	2025年2月
改訂発行年月	年 月
改訂発行年月	年 月
編集・発行者	機 工 営 業 部
発 行	株式会社アルティア

無断複写・掲載を禁ず



株 式 会 社 ア ル テ ィ ア		
札幌支店	〒007-0803 札幌市東区東苗穂三条 3-1-8 1	TEL. 011-786-2010
仙台支店	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町 3-2-1 5	TEL. 022-783-3810
首都圏支店	〒104-6206 中央区晴海 1-8-1 2 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーZ棟6階	TEL. 03-6777-0331
関東信越支店		TEL. 03-6777-0334
機工営業部		TEL. 03-6777-0038
名古屋支店	〒465-0035 名古屋市名東区豊が丘 2 6 番地	TEL. 052-775-4010
大阪支店	〒556-0021 大阪市浪速区幸町 3 丁目 7-1 1	TEL. 06-7708-8820
広島支店	〒733-0842 広島市西区井口 5 丁目 2 5-2 1	TEL. 082-277-2340
福岡支店	〒812-0007 福岡市博多区東比恵 3-6-1	TEL. 092-411-5351

『販売会社又は施工業者の方へのお願い』
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください

販売元

株式会社アルティア